

小諸市誌 歴史篇(二) 目次

通史の部

第一章 前期封建社会の変遷

一 概説

(一) 封建制度

二 前期封建社会

(一) 鎌倉時代

(1) 守護・地頭制

(2) 土地の開拓

(イ) 大井庄の堰開発

(ロ) 長倉保

(二) 南北朝時代

(1) 南北対立の要因

(2) 兩統迭立

三 元 元 三 七 七 二 二 二 七 三 三

(3) 南北兩朝の対立

(イ) 南北朝（対立王朝）の天皇と年号

(ロ) 北朝年号使用例

(4) 南北朝時代の小諸（信濃）

(三) 室町時代

(1) 荘園制度の崩壊

(2) 「座」の組織

(3) 庶民の自覚

(4) 宗教の普及

(5) 室町時代の文化の特徴

(四) 戦国時代

(1) 戦国時代の始期

(2) 戦国時代の佐久・小諸

(3) 小諸城の城主変遷（戦国期）

(4) 仙石権兵衛秀久

(5) 戦乱の終熄

第二章 集落の発展

壺 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

一 概説

(一) 集落の興亡

(二) 水の利用

(三) 農業技術の進歩

(四) 集落の発展

(五) 道路の変遷

二 各論

(一) 堰の開発と変遷

1 廃止された堰

(1) 御影南部台地の堰跡

(2) 和田・市村等地域の堰跡

(3) 御影新田池尻堰跡

(4) 大豆田堰跡

(5) 平原用水古堰

2 古開発の堰

(1) 開発の先後

(2) 水源と水路

(1) 涌玉堰

三

三

六

〇

三

五

七

七

七

七

〇

三

四

四

六

六

三

三

(二)

農業技術の発展

1 中世の農機具

- (ロ) 大沼堰
- (ハ) 石神堰
- (ニ) 出間堰
- (ホ) 赤谷堰
- (ヘ) 水出堰
- (ト) 涌井堰
- (チ) 繰矢川水系の堰
- (リ) 北川水系の堰
- (ヌ) 松井川水系の堰
- (ル) 中沢川水系の堰
- (ロ) 栃木川水系の堰
- (セ) 花川水系の堰
- (カ) 菱野「女堰」
- (キ) 菱野「荒堰」
- (ク) 「深沢堰」
- (ケ) 諸付近大湧水地帯
- (コ) 川辺地区の水利

一四一 一四二 一四三 一四四 一四五 一四六 一四七 一四八 一四九 一五〇 一五一 一五二 一五三 一五四 一五五 一五六 一五七 一五八 一五九 一六〇 一六一 一六二 一六三 一六四 一六五 一六六 一六七 一六八 一六九 一七〇 一七一 一七二 一七三 一七四 一七五 一七六 一七七 一七八 一七九 一八〇 一八一 一八二 一八三 一八四 一八五 一八六 一八七 一八八 一八九 一九〇 一九一 一九二 一九三 一九四 一九五 一九六 一九七 一九八 一九九 二〇〇 二〇一 二〇二 二〇三 二〇四 二〇五 二〇六 二〇七 二〇八 二〇九 二一〇 二一一 二一二 二一三 二一四 二一五 二一六 二一七 二一八 二一九 二二〇 二二一 二二二 二二三 二二四 二二五 二二六 二二七 二二八 二二九 二三〇 二三一 二三二 二三三 二三四 二三五 二三六 二三七 二三八 二三九 二四〇 二四一 二四二 二四三 二四四 二四五 二四六 二四七 二四八 二四九 二五〇 二五一 二五二 二五三 二五四 二五五 二五六 二五七 二五八 二五九 二六〇 二六一 二六二 二六三 二六四 二六五 二六六 二六七 二六八 二六九 二七〇 二七一 二七二 二七三 二七四 二七五 二七六 二七七 二七八 二七九 二八〇 二八一 二八二 二八三 二八四 二八五 二八六 二八七 二八八 二八九 二九〇 二九一 二九二 二九三 二九四 二九五 二九六 二九七 二九八 二九九 三〇〇 三〇一 三〇二 三〇三 三〇四 三〇五 三〇六 三〇七 三〇八 三〇九 三一〇 三一〇

(三)

金属農具・用具の製作所

- (1) ふぐし
- (2) 鍬
- (3) 踏鋤
- (4) 犁
- (5) 地ならし
- (6) 鎌
- (7) 扱き箸・千齒扱き
- (8) 扱すり臼
- (9) 箕
- (10) 篩
- (11) 鋤簾
- (12) 桶類
- (13) 熊手
- (14) 除草具
- (15) 木槌
- (16) 運搬具
- (17) 鉋

一六 一七 一八 一九 二〇 二一 二二 二三 二四 二五 二六 二七 二八 二九 三〇 三一 三二 三三 三四 三五 三六 三七 三八 三九 四〇 四一 四二 四三 四四 四五 四六 四七 四八 四九 五〇 五一 五二 五三 五四 五五 五六 五七 五八 五九 六〇 六一 六二 六三 六四 六五 六六 六七 六八 六九 七〇 七一 七二 七三 七四 七五 七六 七七 七八 七九 八〇 八一 八二 八三 八四 八五 八六 八七 八八 八九 九〇 九一 九二 九三 九四 九五 九六 九七 九八 九九 一〇〇

1 地名考

(1) 加増

(2) 御影「铸物師屋」

(3) 鎌田・鎌田原

(4) 釜神

(5) 鎌研

(6) 金卸

2 祭祀考

(1) 金山神社

(2) 火魂社

3 製作所跡・遺物

第三章 交通と交易

一 交通路の変遷

(一) 機能面から見た主要路

1 古東山道

2 延喜式東山道

3 甲州道

一五

一五

一七

一八

一八

一九

一九

一九

一九

一九

一九

一九

一九

一九

一九

二〇

二〇

(二) 地域における主要路

1 柵津道

2 芦田道

3 上州道

(1) 大笹道

(イ) 車坂越え

(ロ) 地藏峠越え

(ハ) 花田峠越え

4 牧場内の道

二 小諸地域の村落市場

(一) 市場の役割

(二) 市場と市神

(三) 市場の分布

1 芝生田・井子付近の市場

2 市村の市場

3 清水駅付近の市場

4 市町へ移った市場

5 小諸(室)の市場

二五五

二五五

二五五

二五五

二五五

二五五

二五五

二五五

二五五

二五五

二五五

二五五

二五五

二五五

二五五

二五五

二五五

二五五

6 与良の市場

7 その他の市場

第四章 小諸地域の城館跡

一 概説

(一) 集落防衛

(二) 館

(三) 屋敷

(四) 烽火台

(五) 監視所・番所

(六) 城砦

1 浅間山裾野地形の利用

2 高峰裾野地形の利用

3 御牧ヶ原台地利用

二 小諸の館跡

(一) 小室光兼の館跡考

(二) 大室氏居館跡考

(三) 平原次郎景能館跡考

三〇一

三〇四

三〇七

三〇七

三〇七

三〇七

三〇七

三〇七

三〇七

三〇七

三〇七

三〇七

三〇七

三〇七

三〇七

三〇七

三〇七

(四) 市地籍館趾考

(五) 菱野地頭館趾考

(六) 耳取大井氏館趾考

(七) 森山大井氏館趾考

(八) 大室大井氏館趾考

(九) 平原大井氏館趾考

(十) 小諸大井氏館趾考

三 小諸の城趾

(一) 単郭城

1 芝生田城趾

2 菱野雲之助城趾

3 高津屋城趾

4 五ヶ城趾

5 鍋蓋城趾・乙女城趾

6 杓掛城趾(七五三掛城)

(二) 複郭城

1 手城(代)塚城跡

2 富士見城跡

三二七

三二六

三二五

三二六

三二六

三二六

三二五

三二六

三二五

三二五

三二六

三二七

三二九

三二二

三二五

三二七

三二七

三二六

3 下河原城跡（与良城跡）

4 塩川城々跡

(三) 耳取城々跡群

1 耳取本城（鷹取城）跡

2 裕城跡

3 北の城跡

4 森山城跡

5 五ヶ城跡

6 東城々跡

7 五霊城跡

8 その他の防備

(四) 平原城々跡群

1 平原本城（有利小屋城）跡

2 十石城跡

3 上三田原城跡

4 針木沢城跡

5 宮崎城跡

6 祝堂城跡

三六六

三六一

三九三

三九三

三九七

三九九

四〇〇

四〇四

四〇四

四〇六

四〇八

四〇九

四〇九

四二一

四二四

四二五

四二七

四二九

7 丸山城跡

8 野火付城跡

(五) 柏木城跡

(六) 加増付近の城跡群

1 乙女城跡

2 加増城跡

3 繰矢川城跡

(七) 菱野城跡群

1 菱形城跡

2 桃野城(新城)跡

(八) 布引城跡群

1 堀ノ内城跡

2 楽巖寺城跡

3 愛宕山城跡

4 万福寺旧跡

5 榊形城跡

6 袴腰城跡

附言

四三〇

四三一

四三二

四三六

四三八

四四〇

四四二

四四五

四四五

四五二

四五四

四五四

四五六

四六三

四六四

四六五

四六九

四七〇

(九) 西小諸城塞群

1 且田城跡 ただじょうせき

2 苧屋城跡

3 川久保氏邸跡

附 霧久保城跡

(一〇) 小諸城跡

1 古小諸城の陥落

2 武田時代の小諸城

3 織田(芦田)時代の小諸城

4 北条時代の小諸城

5 松平(芦田)時代の小諸城

6 仙石時代の小諸城

イ 大手門

ロ 黒門

ハ その他の建造物

(追記) 西浦古城跡

四七〇

四七一

四七二

四七四

四七五

四七六

四七六

四七七

四八三

四八六

四八九

四九六

五〇三

五〇四

五〇四

五〇五

五〇七

一 中世の仏教

(一) 仏教の宗派

(二) 仏教伝来の径路

1 伝来の由緒

(1) 大檀那によって招来された寺院

(2) 宗門の布教によって創建された寺院

(3) 大名等が母父等の菩提所として創建した寺院

(4) 上古の勅願寺

2 伝来の径路

(1) 官人等の都鄙往来による伝来

(2) 巡錫布教僧による創建

(3) 大名(豪族)等の斡旋による伝来

3 祈願寺と菩提寺

(1) 祈願寺

(2) 菩提寺

(三) 廃絶寺院考

1 耳取万福寺跡考

2 滝原薬師寺跡考

五〇七

五〇七

五〇九

五二〇

五二〇

五二〇

五二三

五二三

五三四

五三四

五三五

五三六

五三七

五三七

五三八

五三九

五三九

五四〇

- | | | | |
|--|-----|------------------|----|
| | 3 | 諸伝円命(明)寺跡考 | 五六 |
| | 4 | 八満福島寺跡考 | 五六 |
| | 5 | 井子日尻廃寺考 | 五九 |
| | 6 | 井子石原廃寺考 | 五九 |
| | 7 | 糠地寺平廃寺考 | 五九 |
| | 8 | 糠地智明院廃寺考 | 五九 |
| | 9 | 芝生田廃寺考 | 五九 |
| | 10 | 积尊寺諸坊廃趾考 | 五九 |
| | (1) | 果成院 | 五〇 |
| | (2) | 楽巖寺 | 五〇 |
| | (3) | 光岩寺 | 五一 |
| | (4) | 神興寺 | 五一 |
| | (5) | 真福寺 | 五一 |
| | (6) | 慈現房 | 五一 |
| | 11 | 万福寺廃趾考 | 五二 |
| | 12 | 松井廃寺考 | 五二 |
| | 13 | 本陽寺跡考 | 五九 |
| | 14 | 藩主交替により成立・衰退した寺院 | 五二 |

- (1) 泰安廃寺考 新全集(十四卷〇) (一四七〇) 頁二
- (2) 宝壽院廃寺考 新全集(一四六六) (一四八二) 頁二
- (3) 実相廃寺考 新全集(一四六五) (一四八二) 頁二
- (4) 乗政廃寺考 新全集(一四五六) (一四八五) 頁三
- 15 一ツ谷竹ノ花廃寺考 新全集(一四四五) (一四八五) 頁四
- 16 小原相叶廃寺考 新全集(一四四三) 頁四
- 17 森山正安廃寺考 新全集(一四四三) 頁五
- 18 四谷小林廃寺考 新全集(一四四三) 頁五
- 19 八満西方廃寺考 新全集(一四四三) 頁五
- 20 その他の廃寺考 新全集(一四四三) 頁五
- (四) 現存寺院
- 1 宇賀山東漸寺 新全集(一四四三) 頁五
- 2 有影山長泉寺 新全集(一四四三) 頁五
- 3 雲祇山東栄寺 新全集(一四四三) 頁五
- 4 天国山吉祥院成就寺 新全集(一四四三) 頁五
- 5 鷹取山玄江院 新全集(一四四三) 頁五
- 6 法隆山正眼院 新全集(一四四三) 頁五
- 7 福聚山海応院 新全集(一四四三) 頁五

8 遠雲山養蓮寺

二 中世の神道

(一) 自然信仰から神社信仰へ

1 地域神の類型

(1) 氏神

(2) 産土神

(3) 鎮守の神

(4) 屋敷神

(5) 統合された地域神

(二) 神社と祭神

(三) 諏訪神道の伸長

1 諏訪御符礼之古書抄

(1) 文安四年_{丁卯}御射山(一四四七)

(2) 享徳三年_{甲戌}御射山(一四五五)

(3) 長禄三年_{己卯}五月会(一四五九)

(4) 寛正三年_{壬午}花会(一四六二)

(5) 寛正七年_{丙戌}五月会(一四六六)

(6) 文明二年_{庚寅}花会(一四七〇)

五九二

五九三

五九三

五九四

五九五

五九五

五九六

五九六

五九七

六〇〇

六〇二

六〇二

六〇二

六〇二

六〇三

六〇三

六〇四

六〇四

- (7) 文明八年^{丙申}明年五月会御頭足 (一四七六) 六〇四
- (8) 文明十二年^{己亥}花会 (一四八〇) 六〇五
- (9) 文明十四年^{壬寅}御射山明年御頭 (一四八二) 六〇五
- (10) 文明十七年^{乙巳}花会明年頭番役事 (一四八五) 六〇六
- (11) 文明十八年^{丙午}五月会明御頭足 (一四八六) 六〇六
- 2 大宮御造榮(營)之日録 六〇六
- 3 諏方上宮五月会付流鏑馬の頭・花会頭与可
為同前御射山頭役結番事 (守矢文書) 六〇八
- 4 上諏訪造宮帳 六三三
- (1) 大宮之一御柱 佐久郡大井庄 六三三
- (2) 天正五年^{丁丑}十二月廿四日 六四四
- 5 上諏訪造宮帳 六二六
- 6 上諏訪大宮同前宮造宮帳 六二八
- 7 上諏訪大宮同前宮造宮帳 六三三
- 8 春秋之宮造宮之次第 六〇八
- 9 下諏訪春秋兩宮造宮帳 六三〇
- 10 下諏訪春宮造宮帳 六三一
- 11 下宮春宮 六三三

12 春宮御柱諸□□

(四) 諏訪神道と小諸地域の神社

三 修験道

(一) 概説

(二) 修験者の特徴

(三) 修験者の法系

(四) 中世佐久の修験道

(1) 信濃国大井法華堂檀那之事

(2) たんなちやうゆづり状

(3) 檀那預状

(4) 檀那職讓状

(5) 普請役免除状

第六章 中世の文化財

一 概説

二 石造物

(一) 五輪塔婆

(二) 宝篋印塔

六三五

六三七

六四〇

六四一

六四三

六四三

六四四

六四四

六四六

六四七

六四八

六四九

六五三

六五三

六五四

六五五

六五七

(三) 板碑

1 板碑の説明

2 上大宮出土板碑

(1) 環境

(2) 板碑概要

3 積尊寺板碑

4 源正原出土の板碑

(1) 環境

(2) 板碑概要

(四) 柏木地区の地藏尊

1 長祿の地藏尊

2 応仁・文明の地藏尊

三 仏像

(一) 小諸市善光寺本尊

(二) 長勝寺十一面観音

(三) 福正院毘沙門天

(四) 滝原旧葉師寺仏像

1 葉師如来

六五

六五

六〇

六一

六二

六三

六三

六三

六四

六六

六六

六八

六七

七三

七五

七六

七六

七九

2 十一面観音像

(四) 東漸寺観音堂本尊像

四 建造物

(一) 玄江院厨子

(二) 焰硝藏駒形社

(三) 小諸城々門

1 一の門(黒門)

2 大手門

資料の部

菱形城址
五ヶ城(抄)

資料・写真・図表等 目録

第一章

○写真 源頼朝像
○図表 長倉付近の各集落の石高(貫文)の変遷

三三
——
○写真 兩統迭立期天皇系圖
後醍醐天皇像

六〇

六〇

六四

六四

六七

六八

六九

六〇

- 図表 南北朝(対立王朝)の天皇と年号
- 写真 足利尊氏像
- 写真 永楽通宝
- 写真 竜安寺石庭

第二章

- 写真 揚水の堰
- 写真 清水駅跡
- 写真 御影南部台地の堰跡
- 写真 濁川の源泉
- 写真 和田付近堰敷跡
- 写真 池尻付近の用水池跡
- 写真 平原古堰跡
- 写真 涌玉源泉
- 写真 真楽寺大沼池
- 写真 森山用水の取入口
- 写真 石神源泉
- 写真 水出堰

第三章

- 写真 十二河原渡河点の仏頭

- 三〇 写真 大井城跡
- 三〇 写真 志賀城跡
- 三〇 写真 岩尾城跡
- 三〇 写真 康国寺

- 九 写真 平原付近の田切地形
- 一〇 写真 市街地の松井川
- 一〇 写真 旧鍋蓋城跡付近の中沢川
- 一〇 写真 矢鼻堰の枡口付近の弁天社
- 一一 写真 菱野女堰
- 一二 写真 深沢堰大分水
- 一三 写真 弁天の泉
- 一三 写真 ふぐし
- 一四 写真 鍬
- 一四 写真 犁
- 一五 写真 千歯抜き

- 一〇 写真 近津神社

- 写真 東部町桜井戸
- 写真 鶴亀石
- 写真 円形穿孔の礎石
- 写真 熊野堂の石祠
- 写真 眼鏡塚古墳
- 写真 馬瀬口一里塚

第四章

- 写真 小室太郎光兼館跡(推定)
- 写真 竹の花の館跡遠望
- 写真 市区北浦館跡
- 写真 下屋敷跡付近(菱野)
- 図表 耳取大井氏館跡略図
- 写真 諸上屋敷付近
- 写真 大井氏居館跡付近
- 写真 芝生田城跡の石碑
- 写真 菱野雲之助城跡遠望
- 写真 高津屋城跡遠望
- 図表 五ヶ城見取図
- 写真 鍋蓋城跡付近
- 写真 杓掛城跡
- 写真 手城塚城跡遠望

○写真	追分浅間神社	三〇
○写真	防人の歌碑	三六
○写真	茂登里橋	三六
○写真	伴野の市庭の図絵	三九
○写真	芝生田市神	三三
○写真	大井道見大明神の石祠	三三
○写真	富士見城跡遠望	三〇
○写真	下河原城跡	三五
○写真	塩河城跡	三七
○図表	耳取城古図	三三
○写真	略城跡遠望	三五
○写真	北城跡遠望	三九
○写真	森山氏古城跡の石碑	三七
○写真	東城々跡	三三
○写真	五霊城跡遠望	三七
○図表	平原城跡見取図	三六
○写真	十石城遠望	三六
○写真	上三反田原城跡遠望	三六
○写真	宮崎城跡	三七
○写真	祝堂城跡遠望	三七
○写真	富土見城跡遠望	三〇
○写真	下河原城跡	三五
○写真	塩河城跡	三七
○図表	耳取城古図	三三
○写真	略城跡遠望	三五
○写真	北城跡遠望	三九
○写真	森山氏古城跡の石碑	三七
○写真	東城々跡	三三
○写真	五霊城跡遠望	三七
○図表	平原城跡見取図	三六
○写真	十石城遠望	三六
○写真	上三反田原城跡遠望	三六
○写真	宮崎城跡	三七
○写真	祝堂城跡遠望	三七

○写真 丸山城跡

○写真 柏木城(南城・北城)跡遠望

○写真 乙女城跡遠望

○写真 加増城跡遠望

○写真 菱形城跡

○写真 桃野城堀跡

○写真 堀内城跡三ヵ月堀

○写真 楽巖寺城大手口の水濠跡

○写真 愛宕山城跡遠望

○写真 萬福寺旧跡遠望

第五章

○写真 田口蕃松院

○図表 耳取区字白合万福寺参道跡

○図表 葉師寺境内見取図

○図表 円命寺址略図

○写真 福島寺跡付近

○写真 井子日尻廃寺付近

○写真 糠地智明院廃寺跡

○図表 芝生田廃寺跡呪文碑

○図表 大久保神社棟札

四三〇

四三〇

四三〇

四三〇

四三〇

四三〇

四三〇

四三〇

四三〇

四三〇

○写真 枅形城跡遠望

○写真 袴腰遠望

○写真 且田城跡

○写真 刈屋城跡

○写真 川久保氏邸跡

○写真 霧久保城跡

○写真 伝山本勘助鏡石

○図表 小諸城古絵図

○写真 二の丸跡付近の石塁

○写真 西浦古城跡

四三〇

四三〇

四三〇

四三〇

四三〇

四三〇

四三〇

四三〇

四三〇

四三〇

四三三

四三三

四三三

四三七

四三九

四四〇

四四四

四四六

四三三

○写真 上田芳泉寺

○写真 上田本陽寺

○写真 小林寺廃寺跡

○写真 東漸寺本堂

○写真 長泉寺本堂

○写真 東栄寺本堂

○写真 成就寺本堂

○写真 玄江院本堂

○写真 正眼院本堂

四三〇

四三〇

四三〇

四三〇

四三七

四三三

四三〇

四三六

四三三

○写真 海応院本堂
○写真 諸の社宮司（しやくじ）

五九〇
六〇〇

○写真 春宮拝幣殿（御門屋）
○写真 大井法華堂

六〇九
六一〇

第六章

○写真 平原字祝堂出土五輪塔

六一五

○写真 長祿の地藏尊

六一六

○写真 菱野中久保出土五輪塔

六一七

○写真 応仁三年の地藏尊

六一八

○写真 諸付近の五輪塔

六一九

○写真 文明五年の地藏尊

一二〇

○写真 釈尊寺境内五輪塔

一二一

○写真 小諸善光寺本尊像

一二三

○写真 滝原塔峰五輪塔婆群

一二四

○写真 長勝寺十一面観音像

一二五

○写真 小諸古宿五輪塔婆（伝大井氏墳墓）

一二六

○写真 福正院毘沙門天像

一二七

○図表 五輪塔婆

一二七

○写真 薬師如来像

一二九

○図表 宝篋印塔

一二八

○写真 十一面観音像

一三〇

○写真 海応院墓地の宝篋印塔

一三七

○写真 東漸寺観音堂本尊像

一三一

○図表 板碑の各部名称

一三九

○写真 玄江院厨子

一四四

○図表 阿弥陀如来坂碑図（上大宮出土）

一四一

○写真 焰硝藏駒形社

一四七

○図表 釈尊寺板碑

一四三

○写真 小諸城一の門（黒門）

一四九

○図表 源正原出土の板碑

一四五

○写真 大手門（瓦門）

口絵